

【収入保険】私の選択・加入者の声



「多品目栽培の私たちにあった仕組み」

【島根県安来市 おおつか営農組合
組合長 杉原 建さん（69）】

経営規模＝主食用米40ヘクタール、飼料用米31ヘクタール、
稲WCS（発酵粗飼料）9ヘクタール、稲SGS（ソフトグレイ
ンサイレージ）16ヘクタール、レタス58アール、スイセン
球根69アール、大豆170アール、他

収入保険は、**すべての品目が対象なので、さまざまな作物
を栽培する私たち合った仕組み**です。

地域で大規模な圃場整備がなされ作付面積も増えましたが、以前と比べて単収が減り、今は目標値にたどり着けていない状況です。土壌改良をしながら単収増加に努めていますが、大規模農家ほど単収や価格の低下が経営に大きく影響します。設備の充実や高収益品目への切り替えなど、収益確保への対策が急務です。

収入保険はその後押しとなり、新たなことにも安心して取り組みます。

いずれは新たな作目も取り入れて、周年での作業形態を確立し、専従職員も雇用できるようにしたいですね。

（農業共済新聞 [中国版] 2019年10月2週号より抜粋）